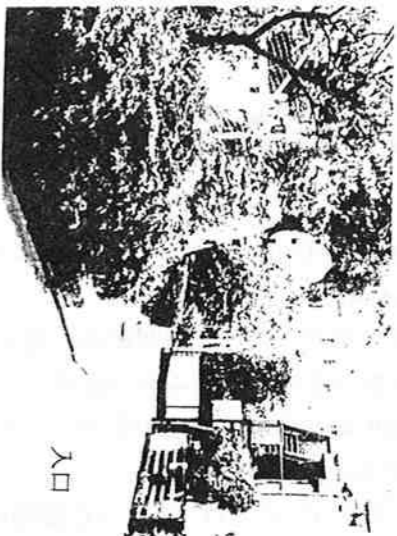


# わがまち

# まごめ

発行 大田馬込地区推進委員会  
 事務局 馬込区 特別出張所  
 大田区中馬込3-25-5  
 ☎(3774)3301(代)



北野神社と馬込東中の前を通る坂道を下って、環七通りを渡ります。渡った先は突き当たりのような交差点となっていて、くらやみ坂から木原山を抜けて下ってきた道が斜め右の方向にあります。が「東海造園土木」の看板の前の道を右へ曲がります。道の左側が暗きよの上に作った緑地となります。道の左側に作られた暗きよの境に、今馬込から山王に地名が変わりました。(昭和40年4月1日住居表示の改正によりこの川と環七の間の地区は、暗きよとなりつゝなどが植えられています。緑の多いこの道を歩いてみました。

## 木原山の山すその道

## 馬込の散歩道 その七

少し先の四つ角を左に曲がると弁天池です。曲つてすぐ左側の駐車場になっている所に「チップアップ」という本屋がありました。広津和郎の奥さんの弟である松沢大平という方が店主でしたが、情報通なので馬込文士村の関所の番人にたとえられていたそうです。弁天池のまわりには、いちようや柳の大木などがあり、静かな公園になっています。桜の木は周辺にも多く、お花見にも最適です。公園にはトイレもあります。再び先程の道に戻り、更に進むと、道はこれまで以上に左右に曲がりくねって、変化する景色は絶妙のおもしろさです。左右に並ぶ住宅もいろいろなものがあり、一軒ごとに感心させられます。山側には階段になっている小道が多いのですが、思わぬところへ抜けられるものと、行き止まりのものがああります。足に自信のある方は、これぞと思う階段を登ってみてはいかがでしょうか。新井宿の高台から眺める馬込の姿も一興でしょう。先程の道を進むと、左の山側に高稲荷社の本殿の後ろ側が見えてきます。この稲荷社へは、手前の階段から入っていく、山の中腹の平行した道から行けます。更に進むと、高稲荷社とは別の、小さなお稲荷さんの鳥居とお堂が見えます。道はその前を右に曲がって環七通りへと出ますが、出口の左側のマンションは、山本有三の旧居跡があった所でした。出口の付近に、片山広子と並んで山本有三の案内板が立っています。馬込に在住した文士たちの足跡が残るこの道を、楽しんでいただければ幸いです。



まごめ 文芸句  
 着ふくれて息つまるほど犬を抱く  
 森岡 遼吾  
 幾曲り曲りて岬寒の雨  
 坪井 教子

登り来し道は紅葉の中にあり  
 兵藤 孝子  
 菊の香に在りし日の父徳げり  
 船山 紀  
 雪径をぬけし山の梅固し  
 牧田誠津子  
 街に住み馴れども里の雑煮かな  
 村上 知子

短歌  
 秋だけて素枯れし庭にひそとさく  
 わらさき優しサフランの花  
 伊藤寿美江  
 幾とせも育てきたりし蘭の鉢  
 今朝は嬉しや花芽を出せり  
 林 とみ子  
 落葉焚く焼芋匂う夕暮れに  
 少年の日の吾を見たりき  
 藤崎 誠之  
 木犀の花びらこぼれて染まる路地  
 星形の小花そと踏み行く  
 矢島 克子

川柳  
 課題「花火」  
 川柳遊芸会  
 選者 近江きら  
 イベントの真冬の花火凍りつき  
 竹馬の友線香花火のように逝き  
 遠花火闇に咲く花 淋しすぎ  
 坂の家 花火の時だけほめられる  
 音だけで見えぬ花火の夕涼み  
 〇古里の花火をだしに父母は待つ



# 環状七号線の地下へ潜る

一九五五年一月十七日、阪神・淡路地区が大震災に襲われ、「生命線」

の言葉がにわかにクローズアップされました。

エネルギー源の電気・ガス。生活用水・排水の上下水道。情報源の通信や報道など、平常は何の不自由もなく利用しているライフ・ライン。それがいったん切断された時の不自由を想像してみてください。そこそその命の危険に直面することにもなるのです。

環状七号線の地下に、ライフ・ラインの敷設工事を見えました。

## ○発端

馬込を貫く二本の幹線道路、国道一号线と環七通りの交差する松

原橋には、西側と東側に、立体交差の円形道路に囲まれた、豊かな

緑の一部があります。

その東側の緑の固まりが消え、

突如として高い塀に囲まれた工事用のプレハブ建物やクレーン等が

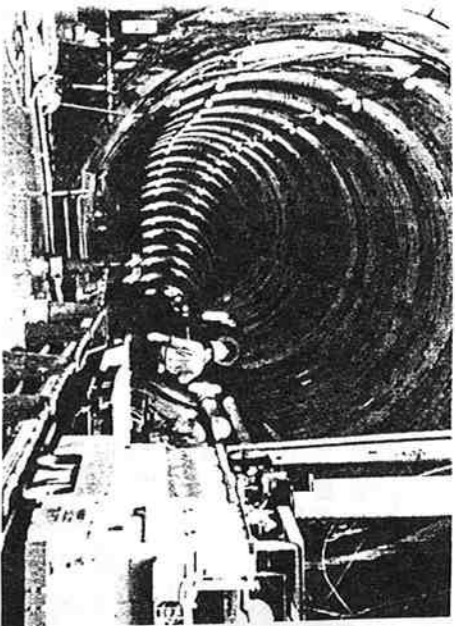
林立しました。

「貴重な緑だったのに、それが

消えて、何かの公共施設でも建つのかしら？」

湧いてきたそんな疑問に対する

答を求めてでかけました。



## ○環七東海松原橋管橋新設工事

工事の正式名です。そして、工

事の主体は、東京電力、地中送電

電建設所、大森工事事務所。

線を埋設するために環七を通過して

東海から松原橋までのトンネル

(管路)を新設する工事」というこ

とです。

つまり、松原橋の緑地に現れたのは立坑の地上部分のみで、大規模な工事本体は、環七の地下で進

行していたのです。

## ○シルド工法

大森本町二丁目の大森工事事務

所で工事概要の説明を受けた後、東海四丁目の工事発進地No.1立坑

から地下へ潜りました。

細く急な工事用仮設階段を伝って地下15mの地底へ下りると、鉄

筋コンクリートのブロック(セグメント)で組み固められた内径64

mのトンネルがのびていました。

トンネルと同じ直径をもつ円筒

状の鋼鉄製掘削機(シルドマシン)で掘り進みながら、壁面に鉄

筋コンクリート製や鉄製ブロック(セグメント)を組み立て、トンネ

ルを構築していくそうです。

シルドとは盾の意味。巨大な盾を前面に立て押し進めていく。

そんなイメージの工法です。

掘削は東海四丁目の立坑を東の

工事発進基点に、松原橋を西の発

進基点にして、双方向から進めら

れ、春日橋陸橋のやや北側、中央

一丁目の地下で、一分の狂いもな

く接合しました。コンピュータ

制御によるハイテク技術が、ここ

でも生かされています。

技術の進歩のせいか、トンネル

内はこれが大規模な土木工事の現

場かと疑われる程に清潔でした。

No.2立坑から一旦地上にもどつ

て、車で松原橋No.4立坑に移動、

再び地下へ入りました。

こちらは内径4.3m。東の管路上

りや、狭いが造りは同じです。

「ここが接合点」と説明されて

も、セグメントの壁が続くばかりで、痕跡なしです。

る予定です。

馬込も含めて、この人口過密都

市の生命線を確保するために、膨大な投資を要することを、改め

て目の当たりにしました。

そして、わたしたちの消費生活

によって膨らんでいく大きな需要増を、黙って見ていないで、減らす努力をすることの大切さも、改めて痛感させられました。

## 馬込情報

### ◎まごめ寺陽祭 (第五回)

日時 9月28日(日) 10時～15時

場所 中馬込2-13まごめ園

今年で五回目、地域の皆さんと

の交流の深さが年ごとに深まり、

出し物、模擬店、河童のパレード

等をたのしみに多くの方々が集ま

ていました。

### ◎区民スポーツまつり (第14回)

日時 10月10日(金) 体育の日

場所 大田区体育館

綱引き(チャレンジャー馬込)

残念ながら二勝三敗で予選リ

ズ通過はなりませんでしたが。

### ◎防災訓練が行われました。

五町会 10月12日馬二小学校

西二町会 11月2日西公園

◎南馬込文化センター文化祭

10月24日(金)～25日(土) 展示会

模擬店 囲碁指導、茶道お点前等

26日(日) 発表会等、日頃のサ

カル活動の成果が発表され、盛会

の内に文化祭が終了しました。

◎ペットボトル店頭回収その二

前号でもお知らせしましたが、

ペットボトルの店頭回収のお店が

5店舗から18店舗に増えました。

もよりのスーパー、コンビニ等

の店頭で回収されています。

注意 キヤップを外す↓水です

すぐ↓つぶす↓回収ボックスへ↓

資源として再生します。ご協力を。

## ◎馬込中創立50周年記念式典

日時 11月1日(土)

場所 馬込中 体育館

午前:記念式典 午後:祝賀会

馬込中学校は昭和22年5月3日

新制中学校大森五中として誕生し

ました。この日は日本国憲法施行

の日であり、大田区誕生の年でも

25年に校名を馬込中学校と変更

し現在に至っています。31年に

馬込東中学、36年に貝塚中学へと

一部が移動して開校されました。

戦後新制中学が生まれて50年。

日本全国で新制中学の50周年記念

行事が行われていますが、我が馬

込地区では馬込中学がはじめての

創立50周年記念式典です。

## 編集後記

◎東京 長野間を最速1時間19分

で結ぶ長野(北陸)新幹線が、10

月1日に開業しました。郷土博物

館で行われた「弥次さん喜多さん

の旅をする」の江戸時代の旅と比べ

ると隔世の感があります。

◎子どもの泣かない日はあっても

カラスの鳴かない日は無いとか。

先日NHKでカラス特集をやっ

ていました。カラスは肉食で、魚

肉のにおいてゴミをあさるため、

食べない野菜類を取りちらかすこ

のことで、人間とチエくらべのよう

です。何とかありませんか?

過日、雨の日の夕刻、車で乗り

付け、大きなゴミ袋を公園のゴミ

箱に入れて走り去った人を見かけ

ました。自分さえよければ、それ

でよいのでしょうか。カラス以下

の人間がいるような気がします。